

## みんなで支える森林づくり北信地域会議（第2回） 概要

1 開催日時 平成22年11月10日（水）午後13時30分から15時50分まで

2 開催場所 北信合同庁舎 講堂

3 出席者 委員7名（佐藤委員 欠席）

◎ 竹節 義孝 山ノ内町長  
高森 壽實夫 北信州森林組合高森組合長  
桑原 重雄 栄村森林組合長  
宮崎 正毅 NPO 法人北信州の森林と家をつなぐ会代表理事  
鈴木 久男 みどりの少年団北信地区協議会長  
竹節 高四郎 自然公園指導員  
笹岡 紀美雄 指導林家

※ 報道 テレビ飯山（北信ローカルは後日、取材）

※ 傍聴等 一般傍聴者なし、  
中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、栄村、北信州森林組合、  
栄村森林組合（オブザーバー出席）

4 開 会

（1） あいさつ 窪田地方事務所長

5 会議事項

（1） 協議事項 平成22年度長野県森林づくり県民税活用事業の実施状況について

ア 森林づくり県民税活用事業1「手入れの遅れている里山での間伐の推進」について

イ 森林づくり県民税活用事業2「森林づくり推進支援金事業」について

（2） 報告事項

ア 森林づくり指針の改訂について

イ 国の動向について

（3） 北信地区野生鳥獣被害対策功労者顕彰バッジデザインの選定について

（4） 意見交換

（5） その他

（市町村・森林組合の担当者もオブザーバー出席し、各事業の進捗状況等について補足説明）

## 主な意見

- 学校への取り組みについて、事業を実施していない市町村、地域があるが、多くの学校へ木育事業等を是非進めていただきたい。
- 最近の高校でスノコを作った事例を聞いたが、スノコは何年経っても便利で壊れない。学校の遊具施設を、PTA等の父兄と一緒に造って学校の環境整備を自分達で出来るという発想になる様、資材、情報の提供をしていただきたい。
- 小学校には森林についての授業があるが、中、高校では先生の取組みが難しい傾向が見られる。  
中、高校生では、山の手入れ等、一緒にボランティア活動もやってもらえと思う。是非その辺の道を作っていただきたい。
- 北信の農林高校生が小学校に行って、森林の授業を教わる側から教える側になって行ける事例もある。こういった事を中学校に拡大したり全県的な広がり期待している。  
また、木曽の林業学校で渡り廊下のコンクリートを生徒達の手でスノコ作りを、資材は調達して自分達で造って歩いた時の感触を良くなるように成功した事例もある。
- 里山の整備事業が順調に進んでいると聞いたが、引き続いて整備をお願いしたい。
- 森林をいかにして守るかが課題で、また、早く材を利用出来、循環出来る方向で考えていく必要がある。
- 国の林業、再生プランは、非常に大事な事。地域性を考慮して北信地域は豪雪地域のため切捨て間伐を認めていただきたい。  
また、森林が産業として見られるためには、森林所有者の意欲も必要。間伐でなく合板材等、色々な面で産業として成り立つよう支援をお願いしたい。
- 北信地域の杉は年数が相当経過すると、トビクサレ等で製品価値が落ちてしまう傾向がある。北信地域に合った産業づくりの提案をしていただいて地域の森林を活かようをお願いしたい。
- 国の林業、再生プランの説明があったが、森林業は地域性があるので全国一律で行なっていくことは難しいと思われる。そんな中、地域性の特徴を活かした事業の方向で、県民税は非常に有力と思われる。是非、継続してやっていただきたいことを切に要望します。

- 長野県のナラ枯れを心配している。広葉樹の巨樹等主力の木が無くなるのは大変な事である。この対策に力をいれ対処していただきたい。



第2回地域会議開催状況